

受 令和 6 年 2 月 21 日
付 午前・午後 2 時 55 分

一般質問 (代表・個人) 通告書

令和 6 年 2 月 21 日

尾張旭市議会議長 殿

氏名 大島もえ

尾張旭市議会会議規則第 50 条第 1 項の規定により 3 月定例会において別紙のとおり質問したいので通知します。

なお、質問事項の件数及び質問方法は、下記のとおりです。

記

1 質問事項 6 件

2 質問方法

	1 回目 一括質問、一括答弁 再質問以降 質問事項 (大項目) ごとに一問一答
<input checked="" type="radio"/>	1 回目から 質問事項 (大項目) ごとに一問一答

↑ 選択する方法に○を付す。



質 問 事 項	「保育の受皿確保」を前提とした都市経営と定住促進について
No. <u>1</u>	て
要 旨	<p>現状は、市内の保育ニーズに対して、供給できている内容に乖離があります。子育てをする人生を選択した場合に、チャイルドペナルティ（子育て罰）とならない様な、社会全体で子育てを支えるための環境づくりに対する市の姿勢と具体的目標値・方策等について、以下伺います。</p> <p>(1) 「保育の受皿確保」を前提とした都市経営と定住促進について</p> <p>保育ニーズに対して供給が足りていないという現状把握ができているか。</p> <p>交通利便性もよく、ベッドタウンとして子育て世代の人口流入や定住促進を進める都市経営において、保育の受皿不足は、例えば駐車場を確保できなければ自動車を購入できないことと同等と言えるほど喫緊の課題であると認識しているか。</p> <p>量の確保により「入れたらラッキー」というステージをクリアし、質の向上やメニューの増強による「保育を選べる」ステージを目指すというマインドセットとなっているか。</p> <p>(2) 保育ニーズと供給・提供内容の乖離への受け止めについて</p> <p>以下、4つの視点からニーズを把握し、目標値や状況をどのように描いているか。</p> <p>①人生の選択として</p> <p>男女共同参画白書等から読み取れる育休取得希望年数には1年を希望する選択が最多ニーズであることや、性別にとらわれないキャリア形成時代におけるニーズの増加</p> <p>②国の制度改変として</p> <p>「こども誰でも通園制度」に対応するための想定必要量</p> <p>③現状既にある課題として</p> <p>フルタイム勤務に対応するための必須時間帯の開所状況のバラつき</p> <p>④求められる保育内容として</p> <p>「預かる」保育から「成長を支える」保育へ</p> <p>(3) 目標値や状況改善のための具体策について</p> <p>認可外保育所や民間保育所の力を借り、効率的・計画的な実現を望む。</p>

※ 申し合わせ事項に留意する。

質 問 事 項 No. <u>2</u>	「こどもファースト」を体現すべく子どもたちのプライバシーや心情及び安全に配慮した教育と環境整備について
要 旨	<p>「生徒は先生の指示に従う」構図の学校では、生徒が自信を持って意見をもち、意見を言える環境ではなく、意見が届く環境ではありません。すると、社会問題や政治の話は、普段の生活とはほど遠いものになります。</p> <p>「こどもファースト」な学校では、子どもを尊重しているから、子どもは自信を持って、意見を持てます。そんな学校で育った人は、社会に対して意見を持てます。意見を持てて、その意見を社会に届けようという気持ちを持てます。</p> <p>子どもたちが社会の担い手として自立できることをゴールとして18歳成人までの子育てを支える教育環境を整備していくために、人と比べる通知表、時間を奪う宿題、個性とか自由を奪う校則が要らないという声やその様な教育を体現している学校もあります。</p> <p>「こどもファースト」を体現すべく、子どもたちのプライバシーや心情及び安全に配慮した教育と環境整備について、市の姿勢と具体的方策等を、以下伺います。</p> <p>(1) 従う学校から尊重される環境へ。意見を持てる成人へ。そのための取組について</p> <p>中学校の校則や制服等の選択肢を持たないルール、小学校の高学年から出現する「生徒指導」的な視線とそれに基づく対等性よりも従属性を帯びた指示言葉や表現など、学校生活の中の「先生の指示に従う」構図の現れについての点検と対策等を行っているか。</p> <p>(2) 尊厳を育むための自己決定・命の安全教育・包括的性教育について</p> <p>尊重されているという経験を育むには、関わる大人による「尊厳」の理解に基づく関わり方が不可欠と考え、そのための学びと理解、対応を行っているか。</p> <p>(3) 「適応指導教室」から「教育センター」へ。学校へ「行けない」「行かない」それぞれへの理解と対応について</p> <p>今、苦しんでいる不登校と称される子どもたちに対する対策というよりは、そもそも画一的な学校の在り方が限界なのではないか。選択肢を増やさない和不登校を選ぶ子どもたちをなくすことはできないのではないか。という点検と対策等を行っているか。</p>

※ 申し合わせ事項に留意する。

質 問 事 項 No. <u>3</u>	18歳成人の節目を捉えたお祝いと社会人準備のための学びの提供について
要 旨	<p>「『二十歳の集い』はあるけれど、18歳の節目はくっきりしない。『その時』が来たら、いつの間にか成人になっている。」という声を聞きます。</p> <p>保護される立場から、社会の担い手となる誇らしい節目としてお祝いできる取組を提案し、市の見解を伺います。</p> <p>▶ 具体例として</p> <ul style="list-style-type: none">・ 社会の仕組みや政治参加の手法を知ること、安心して「成人」の日を迎えられる学びの提供・ 主権者としての誇らしさを育むための選挙手帳を届ける取組など

※ 申し合わせ事項に留意する。

質 問 事 項	行政サービス・教育活動等の中のジェンダーバイアス点検と対応について
No. <u>4</u>	
要 旨	<p>ジェンダー平等に向けた社会の取組の浸透や、自治体によるファミリーシップ・パートナーシップ制度の人口カバー率が80%を超えるなど、人権に配慮された社会の豊かさの深まりを実感します。</p> <p>それらの社会で共有されつつある価値を行政サービスや教育活動等の中でも市民と共に共通土台として共有していくために、より一層の推進力を育むべく、今一度、業務や活動の中にあるアンコンシャスバイアス（無意識の偏見）に気付き、それらがマイクロアグレッション（自分では相手を差別したり、傷つけたりするつもりはないのに結果として相手を傷つけてしまうような言動や行動のこと）を防止するための点検と改善を提案し、市の見解や具体的手法について伺います。</p> <p>▶ 具体例として</p> <ul style="list-style-type: none">・婚姻届で「姓」を選択する場合に、夫・妻どちらの姓を選択する場合にも対応できる記載例の用意の有無・窓口で世帯主記載欄への「世帯主＝男性」というバイアスから夫の名前を促してしまう説明・行政や教育活動内でのイラストや画像を用いる際の性別役割バイアスの点検 <p>など、その他諸々</p>

※ 申し合わせ事項に留意する。

質 問 事 項 No. <u>5</u>	被災時対策としての民間資源の把握・連携と通電火災予防のための感震ブレーカー導入支援策について
要 旨	<p>被災時対策としての民間資源の把握・連携により、民間施設の持つライフラインを支える社会資源（備蓄や井戸水など）の共助を機能的に活用させていただく取組を提案し、市の見解と今後の方針について伺います。</p> <p>また、通電火災予防のための感震ブレーカー導入支援策についても、市の見解と今後の方針について伺います。</p> <p>(1) 被災時対策としての民間資源の把握・連携について</p> <p>(2) 通電火災予防のための感震ブレーカー導入支援策について</p>

※ 申し合わせ事項に留意する。

<p>質 問 事 項</p> <p>No. <u>6</u></p>	<p>地域資源を生かす拠点とネットワークづくりについて</p>
<p>要 旨</p>	<p>青森県八戸市で行われた全国都市問題会議での学びの中に、公設書店を開設したことによる効果の紹介がありました。</p> <p>専門性を発揮したことによる市民への普及効果と共に、他の民間書店とのネットワークづくりによるハブ（集約してつなぐ）の役割を担ったことが、民間も含めた地域資源を生かすことにつながったとのことでした。</p> <ul style="list-style-type: none">①地域資源を生かす。拠点とネットワークをつくる②関心やテーマに基づくコミュニティと当事者を増やす③開かれたパブリックな場をつくる <p>それらのヒントを尾張旭に持ち込むことで、現状の課題解決や活性化につなげることができるのではないかという可能性について提案し、市の見解を伺います。</p> <p>(1) ギャラリースペースの専門性向上と拠点機能及びネットワークづくりについて</p> <p>ギャラリー展示スペースの特性を理解した施設の管理運営スキルを磨くことで提供水準を上げるなど専門性を発揮したアドバイザー機能や、民間ギャラリーも含めたネットワークづくりによる芸術活動の活性化や機運醸成効果に可能性を感じた。</p> <p>(例えば文化会館と展示スペースを有する他の公共施設及び民間ギャラリー等)</p> <p>(2) 人の健康に関する拠点機能及び地域資源のネットワークづくりについて</p> <p>元気まる測定をはじめとした身体状況の把握や自己理解を進める取組と、増加傾向と感ずる民間のトレーニング施設などによる体力メンテナンスとの動線をつなぐことで、健康アドバイザー機能の発揮や、連携によるトレーニング環境の活性化及び機運醸成効果に可能性を感じた。</p>

※ 申し合わせ事項に留意する。